

検査かわら版

発行：
佐賀市鍋島5丁目1-1
佐賀大学医学部附属病院 検査部
責任者：
検査部 末岡榮三朗

『佐賀県の肝炎対策の取り組みについて』

皆さん、7月28日は「世界肝炎デー」です！

世界保健機関(WHO)は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day”(世界肝炎デー)と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました(引用:厚生労働省HP)。

佐賀県でも「世界肝炎デー in SAGA」と題し2012年より毎年7月にイベントを開催しています。今年は7月29日(日)にゆめタウン佐賀で行います。

本号3ページ目では佐賀県肝疾患診療連携拠点病院の相談員である岡田倫明先生に肝炎の治療と佐賀県の取り組みについてご執筆頂きました。

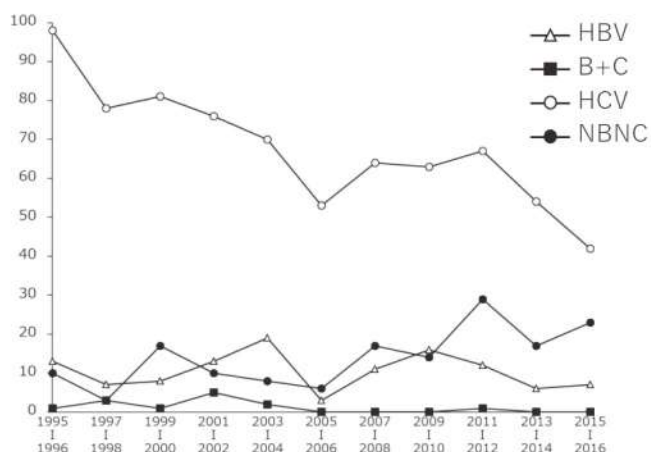
肝炎・肝がんの成因

肝炎の成因は大きくウイルス性と非ウイルス性に分かれます。ウイルス性として、C型肝炎やB型肝炎などが挙げられます。C型肝炎はC型肝炎ウイルス、B型肝炎はB型肝炎ウイルスが感染することにより発症します。

九州肝癌研究会による九州19施設の2016年集計では、初めて肝がんと診断された患者さんの56%は肝炎ウイルスが原因でした。

一方、佐賀大学では肝がんの原因における肝炎ウイルスの割合は、ここ数年70-90%で推移しています。他県に比べ肝炎ウイルスの占める割合が高いという特徴があります。

＜佐賀大学における初発肝がんの成因―人数推移＞



血液検査結果の見方（肝炎ウイルス検査）

HBs-Ag（HBs抗原）

B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。「陽性」や「+」の記載、もしくは基準値(当院では、0.05 IU/ml未満)内ではない場合は医師にご相談ください。

HCV-Ab（HCV抗体）

C型肝炎ウイルスに感染している可能性を調べる検査です。「陽性」や「+」の記載、もしくは基準値(当院では、1.0 S/CO未満)内ではない場合はC型肝炎ウイルスへの感染が疑われます。追加の血液検査を行い、本当に感染しているかどうかを調べる必要がありますので医師にご相談ください。

血液検査結果の見方（肝機能検査）

AST (GOT)	基準値 30 U/L 以下
ALT (GPT)	基準値 男性30・女性20 U/L 以下

肝臓の細胞に含まれている酵素で肝臓の細胞が壊れると血液中に出てきます。肝炎の程度を反映し、この値が上昇します。肝臓病があっても基準値内のこともあります。

γ GTP	基準値 男性70・女性30 U/L 以下
--------------	----------------------

肝臓で作られる酵素でタンパク質の分解や合成をする働きがあります。肝臓や胆管の細胞や胆汁中に存在します。肝臓病により肝機能が低下して胆汁の流れが悪くなったり胆管細胞が壊れるとこの値は上昇します。また、アルコール多飲や薬物などが原因で過剰に作られても高くなります。

T-Bil（総ビリルビン）	基準値 0.8-1.1 mg/dL
---------------	-------------------

古くなった赤血球が壊れたときに作られる色素で黄疸の原因となります。胆汁の流れが妨げられたり、肝臓の働きが低下したりすると高くなります。

※ 基準値は施設によって異なる場合があります。 引用：健康増進ノート
(当院での基準値は上記と異なり、血液検査結果に記載されています)



佐賀県肝疾患診療
連携拠点病院
相談員 岡田倫明先生

佐賀県では肝がん粗死亡率が18年連続ワーストワンという記録が続いており、肝がん及びその原因となる肝炎の対策が急務となっております。全国に71の肝疾患診療連携拠点病院が厚生労働省から指定されていますが、佐賀県では唯一当院が指定され、その実務部門として肝疾患センターが院内に設置されています。「佐賀県を肝がんのない県へ！」のスローガンの下、日々肝炎・肝がん対策に取り組んでいます。

B型肝炎ウイルスは、副作用がほとんどない飲み薬によって血液中からウイルスが検出できなくなるほどウイルスを

たたく治療が主流となっています。また、C型肝炎ウイルスも現在では副作用の少ない飲み薬の治療で95%以上が完治します。

病院で適切に検査・治療すればウイルスはコントロールできる時代だからこそ、何より佐賀県民全員が肝炎ウイルスに感染しているかどうかを一度調べるのが重要になります。

肝疾患センターでは佐賀県健康増進課と連携し、テレビ局等のメディアを含めた産官学一体となった肝臓病の啓発を行っています。また、お住まいの市町や近くの医療機関で肝臓病についての相談対応、専門病院とかかりつけ医との連携を仕事とする肝炎医療コーディネーターを上養成したり、佐賀県内の様々なデータを分析して各市町で具体的に肝炎・肝がん対策を支援する事業も行っています。

毎年7月28日(B型肝炎ウイルスを発見したブランバーク博士の誕生日)は世界肝炎デーに定められており、佐賀でも平成30年7月29日(日)にゆめタウン佐賀で「世界肝炎デー in SAGA 2018」を開催します。

最新の結果では働き盛りの40-60代を中心に、30歳以上の佐賀県民の3人に1人(20万人以上)がまだ肝炎ウイルス検査を受けていない状況です。一人でも多くの方が早く肝炎ウイルス検査を受け、最終的に佐賀県から肝がんの方がいなくなるよう、肝疾患センターは努力を続けてゆきます。

肝疾患センター内の肝臓なんでも相談窓口では専任の肝臓専門医や肝炎医療コーディネーターが無料でどんな疑問質問にも対応しておりますので、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター
肝臓なんでも相談窓口

TEL.0952-34-3731

月曜～金曜(祝日除く) 10:00～16:00

E-mail : sagakanzosoudan@gmail.com

新メンバー紹介

5月より新たに2名の検査技師が検査部の一員となり、病理部門に配属されました。陣内技師は新卒、田中技師は経験者で以前の職場でも病理部門で働いていました。現在、検査部では検査技師36名、医師4名で業務を行っています。患者さんに質の高い医療を提供できるように日々の検査業務に従事しています。



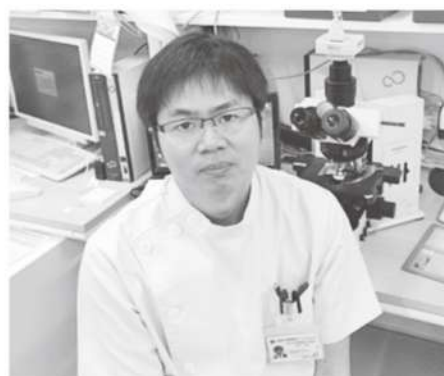
名前：陣内 慶大

生年月日：1995年年12月21日

出身：長崎県 諫早市

趣味：音楽、スポーツなど様々なことに興味がありドラムやピアノをします。また、野球が好きで、読売ジャイアンツファンです！

ひとこと：一つ一つ明確な目標を立てて、まずは細胞検査士の取得を目指し若手として何事も挑戦していきたいと思えます！



名前：田中 祐也

生年月日：1983年07月20日

出身：熊本県 熊本市

趣味：ドライブ

ひとこと：検査技師になって11年目になります。これまでの経験も活かしつつ、しっかりと貢献できるように頑張っていきたいと思えます。学会発表等もこれまで経験がありませんので積極的に取り組みたいと思えます。

編集 後記

近年、治療の進歩によりC型肝炎の治癒率は飛躍的に上昇しました。また、B型肝炎も病勢をコントロールできる良いお薬が登場しています。本号によって皆様方の肝炎への関心が高まれば幸いです。

執筆：大枝敏、池田弘典 編集：大枝敏